臺灣日日新報 昭和十五年一月二十七日（土曜日） 第一万四千三百二十一號 （一）
（昭和一卅一年五月九日第三種郵便物認可）（一九四〇年）

臺灣昌新報 夕刊 一月二十六日
夕刊定價一部二錢
發行所 臺北市表町一丁目一番地 電話（三）五五番
臺北市表町一丁目一番地 電話（三）五五番
臺中市綠川町 電話（三）七七番 臺中支局
基隆市仁愛路 電話（二）〇〇番 基隆支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪支局 大阪市北區堂島ビルヂング内 電話（北）一〇〇一番
東京支局 東京市芝區櫻田本郷町三番地 電話（銀）一〇〇一番

新中央政權の樹立
東亞和平の基礎確立
青島會談の輝く成果

【青島二十五日發同盟】新中國生誕を約束する青島會談は一月十四日に遡ること二十五日には早くも最重要議の殆んどを議了するに至つたが、今次會談で意見の一致を見た點を綜合すれば左の如くである

一、新中央政府を主宰すべき汪精衛氏と日本側との間に行はれた會談の目安國交調整會談に關しては兩政府とも異議なくこれを基礎として今後日支間の親善關係を律することとなつた

二、新中央政府が國民政府の法統を承繼することに關して完全なる一致を見た

三、新中央政府の基本イデオロギーたる經濟の民主主義について異議なく新政府は從來の大亞細亞主義の上に立ち竝び容共の二切を揚棄して道義友好、共同防共、經濟合作の實行を期することとなつた

四、新中央政府は從來の國民黨の一黨獨裁を打破し民族政府會議を開催して廣く各黨各派各界各團體の代表を網羅して新國家の建設に當ることとなつた

五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

四十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

五十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

六十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

七十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

八十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

九十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百二十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百三十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百四十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百五十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百六十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百七十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百八十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

百九十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百二十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百三十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百四十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百五十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百六十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百七十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百八十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十一、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十二、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十三、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十四、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十五、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十六、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十七、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十八、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

二百九十九、新中央政府は國民政府と重慶政府との合流を目標として重慶政府に對し和平の實現を慫慂することとなつた

三百、新中央政府は

神武天皇聖蹟

三ヶ所來月正式に發表

【東京二十六日發同盟】皇紀二千六百年を期し文部省では　神武天皇聖蹟の調査を行つた結果左記聖蹟三ヶ所が內定來月初旬正式に發表される豫定でゐる

雄水門傳說地　大阪府泉南郡雄信達村及び樽井村
男水門傳說地　和歌山市水門吹上神社附近一帶
難波之碕傳說地　大阪市の東區から北區に亙る臺地

新陸軍禮式を制定

"頭央"といふ新號令も生まる

【東京二十六日發同盟】陸軍では最近の新らしい軍隊の編成と裝備殷制の改革と相俟つて從來の陸軍禮式に全面的な改正を加へることになり明治四十二年制定された新陸軍禮式に代つて新たに陸軍禮式を制定、二十六日の官報で發表した、その要點は次の如くである

一、新たに綱領を掲げ禮式の本義は統帥に關する勅諭の趣旨を奉體し軍人の間に於ける禮式を行ふに當つても出來得る限り之を簡易にすることを期明したこと

二、天皇　皇族及び軍旗に對する禮式は一層荘嚴敬虔ならしめた

三、新たに觀閱官親式及び拜式に關する式を定めたこと

四、宮殿上級者に對する敬禮は一切これを廢した

五、陸軍禮式令は本年四月一日から施行する、但し從來の禮式にして特に必要と認めたものは當分の間從來の例によることを得る

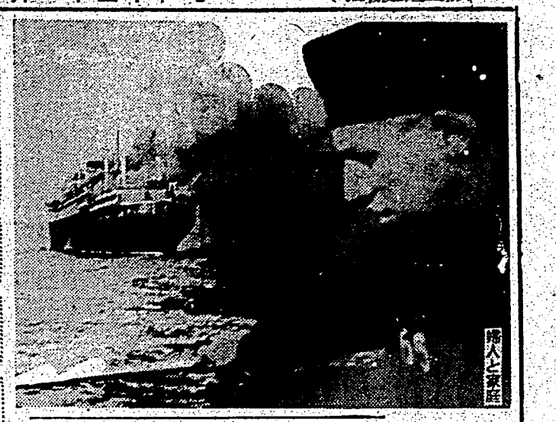
州議代表白衣の勇士慰問

臺北州會議員、茶業組合、銀行、會社、商會、實業團、醫師會、圖書館、商工會議所、靑年團、婦人會、新聞社、各學校、各官廳、各町庄役場、各警察官署、各種團體、各

出船の精神

春巢立つ女學生へ贈る

海軍少將　日暮豐年



私は四十年間の海軍生活を終しましたが、私の海軍大學の一年の時、私の子供は小學一年でした。其頃から子供というものに興味を持つてをりました。子供の頃からなる物語に被へられ、また揉みなものを好むからとして參りました。それが動機となつて、四十年の海軍生活の中分は殺伐生活を送りましたが、兵隊は子供であるとの信念で教育して參りました。たのしい、樂しい生活です。今は海洋少年團の方の仕事をしてをりますが、水雷學校、通信學校と常に海軍に關係のある仕事をしてをりましたので、ここに「海軍」の心機へ轉換と申上げて御參考にいたしたいとおもひます。

常に備へよ

今事變に際して最も早く出動出來た海軍はこの點へ常にあつたからだと考へます。小さな事でも常に心掛け充分前にはすべての準備がすつかり出來て、その次の手配を考へて居れば手丸かりなどはなくなります。常に備へる事も大切なものは「海の諺語」です。標語正しい精神生活をしてゐます。すとどんな重事でも心身共に耐へられるものです。それぱかりでなく、健康であり、標語正しい者は立派な國民としての資格になるものです。

乃木大將の事

乃木將軍は實に標語正しい方でした。黒溝元帥の外遊された船中でどんな時も必ず元帥の左舷に行かれて散歩なさいました。元帥を立てて自分がその下につくといふ態度はよいと思ひます。

持つて行かれた海軍なども元帥に

私は四十年間の海軍生活を終しましたが、私の子供は小學一年でした。其頃から子供というものに興味を持つてをりました。子供の頃からなる物語に被へられ、また揉みなものを好むからとして參りました。それが動機となつて、四十年の海軍生活の中分は殺伐生活を送りましたが、兵隊は子供であるとの信念で教育して參りました。たのしい、樂しい生活です。今は海洋少年團の方の仕事をしてをりますが、水雷學校、通信學校と常に海軍に關係のある仕事をしてをりましたので、ここに「海軍」の心機へ轉換と申上げて御參考にいたしたいとおもひます。

常に備へよ

今事變に際して最も早く出動出來た海軍はこの點へ常にあつたからだと考へます。小さな事でも常に心掛け充分前にはすべての準備がすつかり出來て、その次の手配を考へて居れば手丸かりなどはなくなります。常に備へる事も大切なものは「海の諺語」です。標語正しい精神生活をしてゐます。すとどんな重事でも心身共に耐へられるものです。それぱかりでなく、健康であり、標語正しい者は立派な國民としての資格になるものです。

乃木大將の事

乃木將軍は實に標語正しい方でした。黒溝元帥の外遊された船中でどんな時も必ず元帥の左舷に行かれて散歩なさいました。元帥を立てて自分がその下につくといふ態度はよいと思ひます。

持つて行かれた海軍なども元帥に

油斷のならぬ室内の光

晝間照明度の研究

日本人の體力向上の點からして放任出來ないことがあります。さて近頃學齢兒童の視力低下が問題になつてゐますが、この點に關しても、いつたん室内に入ると餘程から眼へ感じまこ。私は近頃銀座邊で見る女の人の服裝……帽子など、どれもかれもいつた風にきはつなものや使ひ、人とすれ違ふとヨーロッパと思ふあのやうな感覺は、實に不愉快だと思ひます。何時、諸遠な服裝が望ましいものです。

清潔と整頓

次は「清潔・整頓」海軍では殊にやかましいのです。よく整頓の出來てゐる狀態をもつ國は必ず強いといふことは、實によく當る事です。一家の事でもさういふことで、一つの小さな事にも心をこめて正確な動作をするやうにかけていただきたいのです。艦に港に入つた時、入つたきりで整頓すると、今度出港の時大變な勞力と時間とを要するのでさいや出船の位置に直してから艦首の上陸を許すのです。これについて入つたまの有樣を入艦、出る時の參考を出船と私達はいつて、平素この用意を忘れてはならない精神として培つてゐます。ボーをつなぐ時、ロープで岸にしばりつけます。このひとつの方法にもずかしい潮の高低のために上下出來るやうにつないで、その結び目をとけやう

大根の漬物

大根あちやら漬

大根を皮のまま二分位の厚さに切ります。塩をよつて揉らくおきしなやかになつたら次に大根を切ります。酢と醤油を三對一對一の割合で混ぜ合せ、一度煮たてて冷さまします。大根をこれに浸み込ませます。大根の漬子の種子をぬいて刻んだものを加へます。一日位おいて頂きます。

大根切り漬

大根をよく洗つて乱切りにし、鹽を漬け込み、限石をします。十日位につけおいしくたべられます。

聖護院大根

聖護院大根はよく洗つて縦二つに切り、小口から刻みます。白菜は四つ割りにします。醤油子は刻んでおきます。樽の底に鹽をかるくて入れ、白菜と並べます。次に父親と醤油子をふり入れ、大根を漬け切つたものを並べて入れて、限石をし、一週間位たつたら頂きます。

大根の柚子巻漬

大根は二分位の幅切りにして塩をふつて漬け込みます。柚子の皮を細長く切つておく、大根がしなりしたら取り出し、中に柚子の皮を入れてくるく巻きます。酢に塩かんを加へた中に、前の大根を漬けておきます。一日位たつたらいただきます。

洋藥の代用品

醫人談話

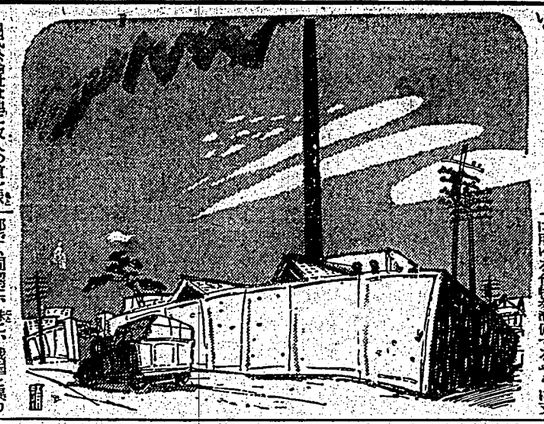
藥は二にも他に頼らず、代用藥品ニにもこゝにも他に頼らず、代用藥品ニにもこゝにも他に頼らず、代用藥品ニにもこゝに

馬に乘る猿

(60)

石川達三作

伊東顯畫



大陽光學（一）

電力大合同が終つて三州水電株式會社が成立すると、竹下榮平は副社長といふ肩書で與へられた。いままでの彼の肩書は、現代公論社長にしても與文四郎氏主にしても、自分で關與につけた肩書であつて他人から贈られたものではなかつた。從つて世間の信用とりあひの取れた肩書であるか否かといふ點では大いに疑問があつたわけである。しかし三州水電社長は他人から贈られた肩書であり、彼が世間から認められた價値を表現したものと言つてよい。いはば彼はじめて世間的な地位といふものを認められたのであつた。

もはやかなつて見ると、以前と同じやうに實際の給料を五十円百円と貰つて喜ぶやうな事は辱かしくて出來ないことになつた。彼の代りに非常重役がそれをするにしても、非常の場合は知れたもので、社長などの給料は期待できない。

現代公論社は他に收入の道を求める必要が生じた。社長自身も三州水電の收入だけで千代夫人と令孃夫人との家庭を支へて行くことは出來なかつた。

「久山さん、一つ現代公論をね、買はうと思ふですがね。まあなんでも經營の組織と同時代だけでも擴大があればよいと思ふが、どういふ風な組織にしたらそれが知らん。君を立てて見てくれないですか」

ある日彼はさう言つた。久山は人間と云ふ點にとりかかつた。しかしたとひ假定通りの收入が有つたにしてもそれは支出を減らす事に過ぎない。竹下榮平の生活費は他から求めなくてはならないは何であつた。

「しかしもはや竹下榮平が收入の道を求めて駈け廻るまでもなく、資本の有るところには資金が集まつてくるものであつた。

二州水電の社長になつた片岡文吉の紹介で、榮平は同夏榮太郎といふ年若い重役に會つた。副見は流石に一家式會社の專務十數年といふだけあつて、老練な態度であつた。

「たいへん經驗の豐富な方だと聞いてをります。光榮に存じます。」

榮太郎の方は、榮平に對して多少の敬意を表してゐるやうに見えた。

「ぜひ一つ御指導を願ひます。」

榮平は丁寧に頭を下げた。

「いや、こちらこそ。」

榮太郎は椅子に凭れたまま、ちよつと頭を下げた。

「ぜひ一つ御指導を願ひます。」

榮平は丁寧に頭を下げた。

「いや、こちらこそ。」

榮太郎は椅子に凭れたまま、ちよつと頭を下げた。

榮平は二州水電の社長室を出ると、廊下を歩きながら、ふと、

「これは面白い。」

と思つ

臺灣日日新報　第一萬四千三百二十一號　A　（一）
昭和十五年一月二十七日（土曜日）　（明治一年五月九日第三種郵便物認可）　（第二版）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁
臺北々佐　入行設象郵編
總督府官報特別掲載許可
社報新日日新聞　所行發
料金前納　定額郵便物認可
電話代表八〇一三　編輯用五八〇三　通信用二〇八三　二二〇六　廣告用二〇八三　二四〇二
定價　一ヶ月前金四五錢　三ヶ月前金一圓三五錢　六ヶ月前金二圓六五錢　一ヶ年前金五圓二〇錢（日本國內及朝鮮滿洲ハ送料共）
廣告料　普通一行十五字詰一日金八十錢　特別掲載一行二十字詰一日金一圓
料金前納　臺北二番町臺灣日日新報社
振替口座臺灣一〇番

物價對策の檢討は きのふで一應終了

【東京二十六日發同盟】二十六日の定例閣議は午前十一時三十分開催、米内首相以下全閣僚出席、阪原國土、厚生兩相より日支關係、物價對策に關して左の如く說明があつた

一、物價對策に關しては去る二月、三月より合せて十六萬人手當するので二月中の發注用石炭は大體千噸程度を增加する豫定である、尙ほ本對策實施に關聯して鐵鋼、セメント、木材等の國內增產計畫竝に輸入計畫の確立を圖ると共に、別項の如き價格對策の實施を期する

一、物價對策に關しては閣議決定の趣旨に則り、關係各廳間に於ける緊密なる連絡の下に、極力その實施に遺憾なきを期する

一、物價對策實施後に於ける物價の動向に關しては、關係各廳に於て嚴重に監視し、その結果に基き更に適切なる措置を講ずる

社說

切符制と強制増産の問題
政府の性格を物資政策に觀る

一

物資價格問題が政治の重大な問題として取上げられその調整が要望されて居るが、その基本的性格として消費の規正と生産の促進との二つの部門があるわけで、これを如何なる方策によつて行くかといふことが政治の問題となつて來る。政府は大體消費問題の規正については生活必需品の切符制を實施せんとする點であり生産の促進については一部強權の發動を行ふ點を明らかにしたやうだ。切符制にしても增産命令にしても、自發的協力によつて目標にやつてゆければ成るだけ避けた方がよい訳もあらうが、然し戰時體制の進行度と個人的方策としてこれを見れば石炭の增產問題にしろ、電力問題にしろ原料の問題にしろ、強權の發動は結局時間の問題ではないか。經濟統制の體制は外面的には一應整つた感はあるが、それに伴ふ物資物價の問題で混亂を來したのはどういふわけであつたか。これは結局その統制の運行能力發動主體の根本問題に成るだけ觸れないとする點に在つたといへよう。

二

一切符制による消費の規正といふことは技術的にも相當的にも困難であり、却々その配給に不便を感じようが、然しこれは强制的增產の問題に較べると比較的實現性を持つてゐるやうに見える。生產の擴充は大體の行き方として今迄價格の引上的傾向を誘導力としてやつて來たものであるし、重點工業の方面ではこの傾向が多分にあつたやうだ。ところがこの行き方は物價の高騰を抑へ、インフレの進行を阻止するといふ點からどうしても方向を轉換せねばならぬことになる政府も此點數年來の習慣上切下げを考慮してゐるやうだが、低物價政策堅持のふからはこの行き方は避ければならぬ。また資金の調整といふことから統制と計劃性を付與し資材と勞力を集中することによつて增產を實現することが出來たがこれも物と人との側から計劃性と强力な統制をやらなければ資金側からだけでは問題が出來なくなつてしまつた。然し價格が低落傾向へ轉じても適正な利潤が確保された場合には資金の調整にしてうまく運用すれば設備の增產は期待し得るのだが、その企業なり經營なりが民間の資金家の運營に任せられて居る限り、增產の實現と擴充に對して國家の要求に合致することは難かしい。

西南重點主義へ
英國今後の對支政策

【倫敦二十六日發同盟】注目の新中央政府樹立が愈〻切迫しつつある事實は英國をして援蔣態度如何の問題を一層重大ならしめ、對支政策の重點を中支より西南支の何れに集中すべきかを決定せねばならぬ立場に置かれるに至つたが最近の情報に依れば、目下重慶に在るカー英大使はコスム佛大使と會談し西北を地盤とするソ聯勢力が重慶政權の容納に伴つて南下の形勢にあるに對しては積極的に同政權を援助したと傳へられる、右英國が赤色勢力の未だ成地帶たる西南諸省に自國の政治的勢力を扶植し得るまで印度を安全ならしめんとする企圖なること看取され、今後の對支政策が西南重點主義に進まんとすることを暗示するものとして世目されてゐる。

【倫敦二十六日發同盟】近ルーマニア國王カロル二世のイタリー訪問が傳へられてゐるが英紙の報ずるところに依れば在ロンドンルーマニア公使館ではこれを否定してゐる、而して英紙の報道に依れば、ヒトラー總統はイタリーへ特使を送りイタリーの計畫を慫慂かめんとしてゐるとの事へイタリーの計畫に就いてはソ聯のベッサラビア進出を容認し制限し更にその後中歐諸國への進出をも制限せんとするものと云はれる、尙此の報道に關しては來る閣議當局の態度を期待するが、仮令此の報道が事實であるとしても獨伊兩國の基本的性格を規定してゐるやうだ。そして消費の節約といふことが行はれようとしてゐる。

臺北州治所見（下）
臺北州知事　川村直岡

十五年度の對豫算策

のの利用しつつある工業の活れるあり、又農業に於ても近く着手すべき重業の存することは各位の御承知であるが、併しこれら孤立以外の港は近代的設備とは申し難く、將來大に擴張を加ふるに非ざれば其の利用は十分なる効果を擧げ難いのであつて當州下に於て從來臺灣港の施設進捗に付種々御配慮を煩はした御當局並に同港及び關係各地と緊密連絡を保つ今後は愈〻一層の協力を以て本港の發展に努力せねばならぬ。

第二は工業の誘致である、從來工業發展の必要なることに付ては今更贅言を要せざることであるが差當州内には現に豊富の開發資源を有するものゝ開所發電能力約三〇〇キロに及び又地下資源として發掘なる石炭、石灰石等があるので先づ差當りに於ては此の資力、石炭及石灰石を利用する工業を誘致することが緊要の要務である

農業は本州産業の基礎であるが、從來の農業經營は概ね舊慣に囚はれ、改良發達の跡見るべきものなく、從つて農業收入も亦低位に在り、農家經濟は困窮の狀態にあるものが多い、從つて農業經營の合理化、農業收入の增加を圖ることは緊要事であるが、之が爲には農業經營の基礎たる土地改良事業の施行、農業金融の圓滑、農業技術の改善、農業經營の改善、農業團體の强化等各般の施設を必要とするのであるが、之等の施設は何れも相當の經費を要するものばかりであるから、之が實施に當つては、地方財政の現狀に鑑み、愼重考慮を要するものがある。

第三は觀光事業の振興である、本州は觀光資源に富み、日月潭、八仙洞、太魯閣、合歡山、霧社、阿里山、鹿港、關仔嶺、北投、新竹、大溪、淡水、金山、基隆、野柳、十三行、烏來、大屯山、觀音山、七星山、草山、陽明山、大直、圓山、劍潭、新店、烏山頭、關子嶺、四重溪、安平、赤崁樓、鹿耳門、鳳山、旗山、大岡山、大崗山、大武山、大關山、玉山、能高山、合歡山、太魯閣、霧社、埔里、日月潭、八卦山、彰化、鹿港、北斗、二水、林内、斗六、虎尾、北港、嘉義、阿里山、關仔嶺、新營、鹽水、白河

結晶糖を廢して 液體糖の製造

糖分回收、物資關係から非常に有利

當局でも研究着手

我が國に於ける砂糖は總督府を中心として製糖會社が發展し、且つ製糖用の機械設備、製品等も相當に改善されて居り砂糖の製造合理化と共に將來は結晶糖を廢止し液體糖に向ふ必要に迫られつつある。現にアメリカに於てはブリックス六十度のシロップを使用してゐる狀態にあるので世界的にも液體糖の使用の傾向にある。國も液體糖にすれば精製に要する經費の節約が出來また結晶の際に起る醇化作用に依るロスも防止され糖分の回收率も相當高まり非常に有利であるまた輸送については「ドラム罐やタンク貨車、タンク船を用ふれば運搬も簡單化され荷役も節約される等の包裝經費が不用となり、また販賣上物資關係が緩和されるなど、この長所から非常に有利となる、この長所から將來は結晶糖を廢止し液體糖に向ふ必要に迫られつつある。現にアメリカに於てはブリックス六十度のシロップを使用してゐる狀態にあるので世界的にも液體糖の使用の傾向にある。國も液體糖にすれば精製に要する經費の節約が出來また結晶の際に起る醇化作用に依るロスも防止され糖分の回收率も相當高まり非常に有利であるまた輸送については「ドラム罐やタンク貨車、タンク船を用ふれば運搬も簡單化され荷役も節約される等の包裝經費が不用となり、また販賣上物資關係が緩和されるなど、この長所から非常に有利となる、この長所から將來は結晶糖を廢止し液體糖に向ふ必要に迫られつつある。現にアメリカに於てはブリックス六十度のシロップを使用してゐる狀態にあるので世界的にも液體糖の使用の傾向にある。國も液體糖にすれば精製に要する經費の節約が出來また結晶の際に起る醇化作用に依るロスも防止され糖分の回收率も相當高まり非常に有利であるまた輸送については「ドラム罐やタンク貨車、タンク船を用ふれば

十四年中に於ける 島内會社新設解散

拂込額の増加は五千四百萬圓

台灣銀行調査による昭和十四年中の島内會社新設增資解散等の計數統計を見るに、資金關係は次他の關係による關係數の增減ありしに限らず、拂込資本金の增加額は前年に比し五千四百二十七万円、公稱資本額の增加も九千四百十五万円に達し、高度經濟界の活動を反映してゐる、昨年中の新設數は四百二十八社、その資本金六千九百八十五万六千円、拂込金二千七百九十七万九千円にも前年に比し、數で百九十二社、資金で五百十四万九千円の增であつた、昨年中新設の主なものは新興製藥の五百万円、臺灣化成工業の五百万円、東台灣電化の五百万円等である、次に之ら過去三ヶ年に於ける會社の新設增資拂込、解散、減資の數字を比較すれば次の如し（單位千円）

◇新設

年度	社數	資本金	拂込金
十四年	四二八	六、九八五	二、七九七
十三年	五〇二	六、五六〇	二、六二四
十二年	四九五	六、三〇〇	二、五二〇

◇增資

十四年	一五五	五、四一五	二、一六六
十三年	一四九	二、四五二	一、二二六
十二年	一四二	二、三〇〇	一、一五〇

◇拂込

十四年	一九六	一、九六〇	一、九六〇
十三年	一四五	一、四五〇	一、四五〇
十二年	一〇二	一、〇二〇	一、〇二〇

◇內地より移轉

十四年	一五	五五	五五
十三年	一	一八	一八
十二年			

◇解散

十四年	一三	三、一五〇	三、一五〇
十三年	一一	二、七〇〇	二、七〇〇
十二年	一一	二、七〇〇	二、七〇〇

◇減資

十四年	一	三	三
十三年	一	三	三
十二年	一	三	三

北部各驛の 滯炭五萬二千噸

（前略）昨年末以來貨車繰りは未曾有の逼迫狀態にあつて石炭の急送に大變なつてゐる關係上石炭の滯貨の止むを得ざる事とは申せ、山元、鐵道は積極してその緩和策なく既に一部には出炭の減退に着手し他方港灣側貯炭は減少の一途をたどり此の際に於ける船舶輸送狀況その他の狀態にも大支障を來すものと思はれる、此の上日本海運貨物運送會社運用增送四万噸を割當てられ現在の輸送能力を以てすれば現在の輸送能力を以てすれば現在の輸送能力を以てすれば

激流

（第十回）

久生十蘭作

伊勢良夫畫

即興曲（四）

冬彦は、いよいよ盛井になつて「私は、あなたを救してゐる。ところが、それを表現する方法がないといふことになれば、勢ひ、私も激せざるを得ない。われわれの悩みのうちで、自分の言ひたいことをはつきりと表現出來ないといふことぐらゐ激烈な悩みはないのですからね。……ごらんなさい私はいかにも苦悶してゐるでせう手取早く言へば、これア一種の癲乱病だら何だか知らないが、無闇によく感冒る。まるで戦場から火がついたやうに飛んで立てますがたいして熱まつた事を言つてゐる訳ではない。ただから無闇に感冒る。……つまり、これが苦悶の爆発といふやつなんです。……ところで、私は、いつたい、何を言ひに來たんだつけ。……こんなことを言つたつて、どうか氣を悪くしないでください。悩んでゐるわけでもなし、さばけてゐるわけでもないんですが、だいぶんだけど、私の言ひたいことを表現する方法がないあなただつて、ただ察してゐるだけではご承知でせう。……何だか物足りない。言葉だけでは、すぐ身を入れるといふわけにはゆかないし、ちやつと信用をしにくいといふわけでせう。どうしまう？ここで自殺でも断りまうか？それとも、殺人でもやらまうか？」

眞彼は、靜かに眼れた。

「あなたは、あたくしを惡らせにいらしたのですか？」

冬彦は、一種凄絶な顔つきになつて、

「そのお言葉は意外ですな。この私が、あなたを惡らせに來たのではないので、そんな風に解釋されるのは、あなた自身です。……況んや、あなたにしたつて、今のお言葉は二重の侮辱として仰言つたのでせうけれど……」

眞彼は、とめどなく昂り立てる相手を眺めながら、自分ならばこんな場合どうするのだらうと考へてゐた。

言葉だけで相手を納得させることが出來ないといふもどかしさ、不充分な言葉といふものに對する屈辱に囚はれると、自分も多少こんな氣がするだらうと思はれ、そのの点は同感出來ないことはなかつたが、このきりのない誤解を無理にひき立てようとする態度にしがみ、自然らしく見せかけようとすることが、却つてみた眼になつてゐることを見ぬいた。

冬彦は、心にもないことを喋言の如く饒舌して、こちらの眼を眩惑させようとしてゐる。眞彼が不審に思ふのは、本當でもないことを何のためにこんなに感言り立てようとするのかといふことにあつた。

「何を言ひつもりなのか、よく呑み込めませんけど、でも、断斗くらゐで諦くのは嫌ですわね」

「もちろん、断斗は比喩に過ぎません。何でもここで馬鹿げた眞似をしようといふわけやないので す。あなたに聞いてもらふためにかといふ氣持の程度を説明したのに過ぎません。……音を居る方はこれはまア問題外でせう。ここへ坊ちやつからるなたに聞いてもらつたつてどうにもしようがないことですから」

冬彦の眼は、一種形容し難い情熱のために美しく輝き、少しの間もこちらの眼から離れないので、眞彼は、顔をそむけることが出來なかつた。

冬彦が、無理にこちらに信じさせようとしてゐるほど、ふさけてゐるとは思はない。むしろその調子の中に何か自棄的な苦い味があつて、眞彼の心を、ぐいと引きに近い、軽い感傷的な氣持に誘ひ込まずに置かなかつた。

（このひとはどうしたいふのだらう？）

何かやりどころのない苦悶のために、悶り立てられた眼のやうになつてゐる美しいその眼を、眞彼は、靜かに見戻つてゐた。

タキー、交響樂團（ユーベルト作曲リスト編曲）…エゴン・ベトリ、雨の國（ドビュッシイ作曲）…ウルター・キーゼキング（コロムビアビクターレコード）

【七・二〇】ニュース

【七・二〇】國民歌謡（大阪）（實演）

【七・三〇】歌謡（東京）（實演）

【七・四〇】講演（東京）中南支を巡りて…陸軍報道部長 馬淵逸雄

【八・〇〇】講演（東京）北條秀司作…お波 河合武雄、おく ら 英太郎、筆吉 小川雄、ひろ子 市川紅梅、その他大勢

【九・〇〇】世界物語（東京）宮本武藏（吉川英治 原作）…市川八百藏

【九・二五】九四〇時報（東京）

【九・四一】講唱（實演）…二、國民歌謡（イ）心のふるさと（大木惇夫作詞、江口夜詩作曲）（ロ）旅人（三好達治作詞、下總院一作曲）（ハ）岩の船（北原白秋作詞、小松耕輔作曲）…二、（イ）子守唄（モーアルート作曲）（ロ）愛の歌（ヘルティ作詞、ブラームス作曲）三、歌劇フイガロの結婚よりスザンナの歌謡（モーツアルト作曲）…杉下由佐子、ピアノ伴奏 鍋千歳

【九・五五】ニュース（實演）

【一〇・〇〇】國民歌謡（大阪）

【一〇・二〇】ニュース（實演）

【一〇・三〇】ラヂオ體操

【一〇・四〇】ラヂオ體操

【一〇・五〇】ニュース（實演）

【一一・〇〇】商業實務…簿記 取引 相場（實演）

【一一・一〇】臨時實況ニュース

【一一・一五】正午の時報（東京）西邊定期航路第九昭洋丸出港時刻及接續列車時刻のおしらせ…鐵道運輸課發表（各局）年後の放送番組發表（各局）

【一二・〇〇】實演 演藝時間（レコード）輕音樂 ハルピン夜曲（山田榮一作曲、櫻井潤編曲）忘れられぬ 細井馬天作曲、櫻井潤編曲）…サクライ・イス・オルケスタ 旅愁（飯田信夫編曲）…ナニロ岡 落日悲愁、日本ビクター管絃樂團、故郷の人々（深海善次編曲）…トラムペット獨奏 日出島、日本ビクター管絃樂團、銀盤のリズム（鈴木静一編曲）…ビクターファナ・エース、舞踊の假方（同上）…赤井英子、日本ビクター管絃樂團、愛染草紙（仁木他喜雄編曲）百萬の歌（同右）…コロムビア・オーケストラ

【一二・四〇】ニュース

【一二・〇〇】國民歌謡（大阪）（實演）

【一三・一〇】講演（東京）…ニュースのニュース（實演）

【一三・一五】ニュース

【一三・二〇】ニュースのニュース（實演）

【一三・三〇】ニュース

【一三・三五】ニュースのニュース（實演）

【一四・〇〇】子供の時間（東京）物語 鎌倉文庫（東京）…鎌倉の巻 都司大尉・牧野周一

【一四・一〇】子供の時間（東京）

【一四・一五】講演（牡丹江）…開所に於ける滿鐵附屬地に就て…牡丹江民政部長 井上雄

【一四・四五】音樂ニュース

【一四・五五】カレント・トピックス（東京）

夜

【一七・〇〇】（實況ピアノ獨奏（レコード解說）…ベガニニ作曲リスト編曲）…シンヤ・レヴィ

子供の時間

郡司大尉（東京）（六・〇〇）

牧野周一

明治の宵、二十六年といふ年に日本は偶然にも二人の偉大なバイオニヤを持つた。而もその二人が陸海軍の軍人であつたことは注目されてよい。歴島中佐のシベリヤ單騎遠征と郡司大尉の千島探險がそれである。

乏に國運大危の雲になる郡司大尉に基き、東亞建設のバトンを續く小國民の爲に同氏の物語を放送し先輩の事績を偲ぶと共に國家的な覺悟を新たな夢を育む一助としたいと思ふ。原稿者はいふ一片の餌に客をつける時、郡司大尉等のことを語へ

明治の宵、二十六年といふ年に日本は偶然にも二人の偉大なバイオニヤを持つた。而もその二人が陸海軍の軍人であつたことは注目されてよい。歴島中佐のシベリヤ單騎遠征と郡司大尉の千島探險がそれである。

乏に國運大危の雲になる郡司大尉に基き、東亞建設のバトンを續く小國民の爲に同氏の物語を放送し先輩の事績を偲ぶと共に國家的な覺悟を新たな夢を育む一助としたいと思ふ。原稿者はいふ一片の餌に客をつける時、郡司大尉等のことを語へ

【一七・一〇】朝の體操（ラヂオ體操）

【一七・二〇】朝の修養（仙臺）戰時國民生活からの啓示（入口）…横田酒

【七・五〇】朝の音樂（レコード）

【八・〇〇】ニュース

【八・一〇】朝の時報（東京）

【八・二〇】ドイツ 國歌（第五十八回）（實況）…西田正一

【九・二五】西邊定期航路第九昭洋丸出港人員時刻及接續列車時刻のおしらせ…鐵道運輸課發表

【九・四五】家庭講座 國民學校に就て…國民學校長 博士河石九二夫

【一〇・一五】家庭料理 獸立（實況）…（東北帝國大學醫學部 田千鶴子）…一、世界各地の獸肉とかしわの獸肉 二、かにの玉子燒（實演）…（東北帝國大學醫學部 高等女學校教諭 石井重美）…三、獸肉の料理

【一〇・四五】ラヂオ體操

【一一・〇〇】ニュース

【一一・一〇】ニュースのニュース（實演）

【一一・一五】ニュースのニュース（實演）…（東北帝國大學醫學部 高等女學校教諭 石井重美）…三、獸肉の料理

【一一・四五】ニュース

【一二・〇〇】國民歌謡（大阪）（實演）

【一二・一〇】ニュース

【一二・一五】ニュースのニュース（實演）

【一二・二〇】ニュース

【一二・三〇】ニュースのニュース（實演）

【一二・四〇】ニュース

【一二・五〇】ニュースのニュース（實演）

【一三・〇〇】國民歌謡（大阪）（實演）

【一三・一〇】ニュース

【一三・一五】ニュースのニュース（實演）

【一三・二〇】ニュース

【一三・三〇】ニュースのニュース（實演）

【一三・四〇】ニュース

【一三・五〇】ニュースのニュース（實演）

【一四・〇〇】子供の時間（東京）物語 鎌倉文庫（東京）…鎌倉の巻 都司大尉・牧野周一

【一四・一〇】子供の時間（東京）

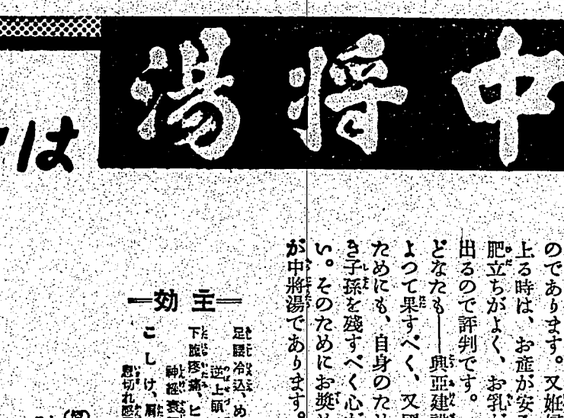
【一四・一五】講演（牡丹江）…開所に於ける滿鐵附屬地に就て…牡丹江民政部長 井上雄

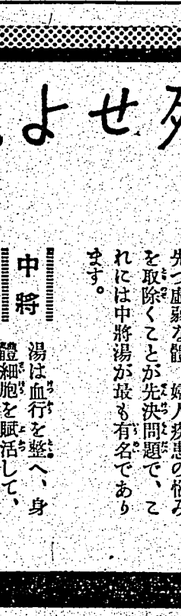
【一四・四五】音樂ニュース

【一四・五五】カレント・トピックス（東京）

夜

【一七・〇〇】（實況ピアノ獨奏（レコード解說）…ベガニニ作曲リスト編曲）…シンヤ・レヴィ





生殖よめ

母の母は湯將中

上記の見出しを見ただけでは、その意味が詳かでないでありませう。中將湯は人の母だと云ふのではありません。母になれない多くの女性を母にするといふ意味であります。子寶のない淋しい家庭は、概ね、御婦人の不健康、わけても婦人疾患に原因してゐる事は疑ひのないところであります。丈夫なお子さんの欲しい方は、先づ虚弱な體質、婦人疾患の惱みを取除くことが先決問題で、これには中將湯が最も有名であります。

中將　湯は血行を整へ、身體細胞を賦活して、抵抗力を强化し、疾病の驅除に當つては本劑獨得の總攻撃戰法によつて芯から病原を取除くので、元氣に滿ちた健康體になるのであります。又婦人の方が召上る時は、お産が安全で産後の肥立ちがよく、お乳がタップリ出るので評判です。どなたも——興亞建設を健康によつて果すべく、又國家將來のためにも、自身のためにも、よき子孫を殘すべく心がけて下さい。そのためにお奬めしたいのが中將湯であります。

14—11 B

D-75

森永煉乳株式會社

新しい發育を新紀世の兒康健に

乳粉高最界世・るけ助を乳離・め早を育發

クルミイラド森永

お乳さへたつぷりなら——

せい一杯

ぐん〳〵伸びる

森です

ビタミン酵素

の多い、消化

の一番よい

お腹をこわさない

いよい粉おちゝ

をお與へ下さい

のび〳〵した新

しい發育で

どつしりとお

肥りになれます

無自覺の危險

ズルフオンアミド劑に對する責任なき說明と應用は却つて慢性患者を激增せしめる……

ズルフオンアミド劑が淋疾治療に對し、如何に世界的な稱讃を博してゐること言つても、二—三日の內服で完治するが如き感を患者に懷かせることは實に危險であり、卽ち化學療法劑の效果を誇示し、最も納得し易き局所症狀の消退のみを强調することは、心理的に不當な安心を與へ、恰も短期治癒の如く誤信せしめ易い。

アルバジルは內服後早きは翌日に於て自覺症狀の消退を見るが、敢て之を主張しないのは、自覺症狀の消滅を證明するものではないこと言ふ學理と實驗を尊重し、正しき化學療法を確立せんが爲めである。若し、ズルフオンアミド劑の效果を誤信して、この時治療を中斷するならば、再發に惱み、且つ淋菌の抗藥物性を助成し、治療を困難ならしめるが故に、化學療法劑を正しく認識し、其の應用を過たざる機銘記せねばならぬ。

治療效果の信賴すべき標準は諸權威者に依て斯くの如く樹立された

ミドを有する高分子製劑たるアルバジルにして、既に左の如き經過を辿るもので之を凌駕する治癒率は絶無と稱せらる。淋疾に對するズルフオンアミドの發見が世界的な驚異と稱せらる、事に變りはないがその眞の作用を正視徹底的療法を期すること、ここが、最も緊要な所以であることを高唱して止まない

三日間の內服にて——

一回二錠食後に服用し、一日六錠宛を三日服用せしめる方法を、學術的に、一重線療法と稱せられる。アルバジルの內服により一週以內に淋菌陰性となるものは三〇—五〇%なりと稱せらる。

六日間の內服にて——

第一回の重線療法に於て、淋菌は三〇—五〇%の治癒成績を收め得ること回の重線を行ふことによつて五〇—七〇%の治癒成績を收め得ること が說明されてゐる。

九日間の內服にて——

前項なる淋疾には第一回の重線療法を反復するが、第二回目の重線療法は第二回目を終了後、三—五日を休養して施行する。本劑服用に於ては七〇—九〇%の治癒率が報告されてゐる。現在の臨症も重線療法の如き短期に於て成功せる治療が期待られつゝある。

☆適應症　急性、慢性淋疾・中耳炎・扁桃腺炎・丹毒・齒齦炎・齒槽膿瘍・膀胱炎・產褥熱其の他……化膿性諸疾患等

二十錠入……四圓
一回一錠入……拾七圓
委託販賣品切賣は本舖へ乞照會

製造元　株式會社　山之內藥品商會
海外支店所在地　奉天・北京・廣東

錠ルゴフキルアル

性急に疾淋　性慢に疾淋

ALB44

（第三種郵物便可認可）　昭和十五年一月二十七日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万四千三百二十一號　A（五）

高雄州防空訓練

きのふ四度空襲警報

【高雄電話】二十五日發令實施に決定した高雄州下第二回防空訓練は二十六日も實行され敵機襲來の場合東部地區より西方に飛來する敵機との想定の下に午前十時半空襲警報發令、午後一時四十分警戒警報解除、午後一時五十分再び空襲警報發令、午後二時四十分解除、同四時五十分再び警戒警報發令、午後五時解除、午後六時十分再び警戒警報發令、午後六時四十分解除された、同六時十分頃各所に投下した防空爆彈、發煙筒等は總て不發彈であつた、尚今回の訓練は前回の經驗に鑑み、敵機の來襲方向を變更し、又警報發令時間を變更して實施したものである

防空訓練中に發火

【高雄電話】高雄州防空訓練の際生じた二十五日午後四時二十分空襲警報發令されて十分後に發火點と想定された高雄市上空に敵機來襲し爆彈を投下したので同二時四十分解除、同四時五十分再度空襲警報發令、同時五十分各所に投下した防空爆彈、發煙筒等は總て不發彈であつたが、消防組の活動により發火點は數ヶ所で同六時十分解除された、夜に入つて同八時十分四度目の空襲警報發令され、同二時間に亘り灯火管制を實施した、尚今回の訓練は前回の經驗に鑑み、敵機の來襲方向を變更し、又警報發令時間を變更して實施したものである

臺南州壯丁團檢閱

二月廿日市球場で擧行

【臺南電話】臺南州の第十五回徴兵檢査は二月二十日より市内球場で擧行、檢査官は第二師團より派遣の軍醫官、州より伊藤警務部長、宮脇警務課長、警察醫等多數參會、檢査は午前八時より開始、午後一時より一時間休憩、午後四時より再開、檢査終了は午後六時の豫定、尚檢査當日は市内各學校は休校、官公署は半休、商店は休業の筈

臺中州完納

【臺中電話】去る二十五日を以て臺中州の昭和十五年度後期分各種稅金は全部完納濟となつた、尚同州では後期分の時局關係稅に對し納稅組合二十四名に對し感謝狀を贈呈し、又納稅組合二十二團體に對し感謝狀を贈呈した

臺中神社上棟式

きのふ嚴修さる

【臺中電話】御造營中の臺中神社は二十五日午前十時より嚴修上棟式が執行され、午前十時半より祭典、午後一時より直會が行はれた

都市計畫講演

けふ高雄市で

【高雄電話】高雄市では二十七日午後七時半より市公會堂に於て東京都市計畫委員會幹事川原儀孫氏の來高を好機に同氏の都市計畫講演會を開催する

阿里山に降雪

【嘉義電話】阪神地方より來山した本年の本格的冬景觀を見んと多數觀光客が詰めかけつつあるが、二十二日の大雪に續いて二十三日も降雪があり、二十四日午前九時現在の積雪は實に一尺二寸に達し、樹氷は全山を蔽ひ、八重櫻は滿開の美觀を呈し、又二十三日の降雪は實に一尺二寸の多きを數へ

簫の音

小林信二

◇

戰爭と亡國の亂れ、日本を國亂し、日本を國亂し、麻のやうな天正五年、毛利太郎の勝業成就も近いのであらう。中國征定の翁が、東北の辺境な陸奥、高島家領内にも風の如く傳はつて來た。毛利太郎の勝敗をもつてすれば、やがて陸奥、出羽その他の諸國の異動も眼前の題と化しよう、東北數ケ國國主の天々の服服決定も近いであらうと噂してゐるときであつた。

勝利のかつて經んだことのない陸奥、羽後の國情は、それらの情勢をそのまに、愈と緊張を加へて、一觸は何時とも知れ難いかに見えた。

矢が矢を呼び、國内の戰雲は急を告つて羽後の攻勢を一氣呵成に叩き潰す作戰を執つてゐるか、陸奥には一向に動ずる氣配さへない。

そのやうにして雪の深い正月を迎へてしまつた。

岩木嶽に囲まれた國二月、それでも春は卒々に、やつて來ずにもなかつた。

◇

峠に若葉が吹んで、もう五月、陸が過ぎたばかりの頃、佐竹氏は、春を前に控えて、緊張が一層ついてゐた。

強い陸がギラギラと眼に眩ゆさうに輝く、天正七年五月七日のことであつた。同じ峠路を南へ南へと急ぐ一騎があつた。

これに反し戰線膠着する羽後の攻勢を一氣呵成に叩き潰す作戰を執つてゐるか、陸奥には一向に動ずる氣配さへない。

そのやうにして雪の深い正月を迎へてしまつた。

岩木嶽に囲まれた國二月、それでも春は卒々に、やつて來ずにもなかつた。

◇

峠に若葉が吹んで、もう五月、陸が過ぎたばかりの頃、佐竹氏は、春を前に控えて、緊張が一層ついてゐた。

強い陸がギラギラと眼に眩ゆさうに輝く、天正七年五月七日のことであつた。同じ峠路を南へ南へと急ぐ一騎があつた。

矢が矢を呼び、國内の戰雲は急を告つて羽後の攻勢を一氣呵成に叩き潰す作戰を執つてゐるか、陸奥には一向に動ずる氣配さへない。

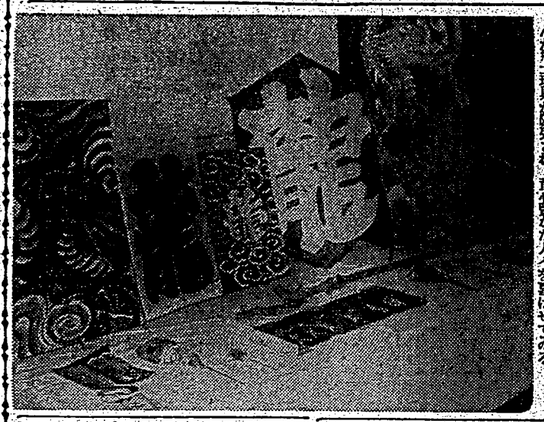
そのやうにして雪の深い正月を迎へてしまつた。

岩木嶽に囲まれた國二月、それでも春は卒々に、やつて來ずにもなかつた。

◇

峠に若葉が吹んで、もう五月、陸が過ぎたばかりの頃、佐竹氏は、春を前に控えて、緊張が一層ついてゐた。

強い陸がギラギラと眼に眩ゆさうに輝く、天正七年五月七日のことであつた。同じ峠路を南へ南へと急ぐ一騎があつた。



龍に因む趣味展

世七、八の頃日本社會學界の問題に、三尺に四尺の飛龍大風をなぐめとし、愛らしい幼風に字風、さては彼鏡の面、竹箇崎、走馬燈の切抜繪、摸燈、竹細、繪扇などに龍んだ博士玩具が網羅され、童心豊かな人々を喜ばせてゐる。

海外文藝の流れ 三

和辻哲郎

◇綺麗のチャンチ

リック・ブラウン書店はヘミルトン・ギビスの半インチ」と題する小説を出版すると發表した。この小説のシーンはフランスの農村で、時は一九二五年の春と夏である。主題は戰爭に參加した個人の組りなさである。作者のギビスは數つかの小説をつづけて出し、その第一は「水滴蟲」で彼自身のものは「我々の有する兩吉」である。彼は一九一四年にイギリス軍に兵卒として入隊し、戰爭の終に赤十字と一緒に勤員された。それ以來彼は心からの平

◇

和主義者になつた

コーベラティヴ・ブック・クラブ

ニューヨーク大學の社會學教授ヘンリー・ブラット・フニアチヤイルド博士はハリー・オーダスト・リー博士の後を次いでコーベラティヴ・ブック・クラブの總裁に就任した。このコーベラティヴ・ブック・クラブは一九三七年に書物をもつとく配給し、各州、カナダその他の外國の會員に役立つための運動を展開しようとして設立されたものである。このクラブの主目的は新刊書の割引販

賣、アメリカの社會に關する書物を配給させる、特に書店、圖書館のない農村、小都會においてである。

總裁であるタウン・ホール・クラブの總裁であるアニアチヤイルド博士は現在メキシコ、南アメリカから歸つた、彼はそこで二ケ月を費つた、彼の著書「ピープル、人口の歴と展望」は「ヘリー・ホルトから出版された

◇フリーマン博士の近況

ドフド・ミード書店はソーンダイク博士の援助を經作した「B・N・C・ウニイスの眼が採入されてゐる、野蛮の發出される鏡の外にローリングス夫人とウニイス氏の二人のサインした七百五十部の限定版が出された、この署名した版は發賣當初の鏡と同じく著店の手で發賣された

住んでゐて、彼の手紙によれば「空の結果の最も重さもの」を彼は期待してゐる、しかし彼は仕事をするのに適當に適當した家を發見してゐる、この建物の裏面は、「ポルトン氏が建てる」である。

◇イーアリングの限定版

チャールス・ズクライヴナーズソンズはウジエニ・キンナン・ローリンスの「イーアリング」のバリア版を發行した、これはN・C・ウニイスの眼が採入されてゐる、野蛮の發出される鏡の外にローリングス夫人とウニイス氏の二人のサインした七百五十部の限定版が出された、この署名した版は發賣當初の鏡と同じく著店の手で發賣された

文藝書と讀書

一、愛蔵する書物

二、最近愛讀した書物

○淺井恵倫

一月上旬からの寒波襲來にアンドレ・ヂイドの讀コンゴ紀行岩波文庫)を讀行した。

アフリカの原物の野蛮的なることは想像のそれと比較できないが、「假等の中にはただ子供らしさ、高貴さ、純粋さ、正直さだけが認められない」云々のヂイドの黒人に對する理解は高砂族にもあてはまるであらう。

關りの日は都足に入れず、頑物あるまいといふやうな感情が支配してゐるせいか、檢討のことも起らず、この頃から、陸奥國主國部侯の招きは頭を聞く大陸に出ず、當時の報知、今の北海道を手に入れるべく軍隊の方途を變へたのであつた。羽後國主佐竹侯は内政の改革に着眼して國力擴張に當つてゐるとき、南部侯は既に報知に兵を進めてゐた。その間佐竹侯は陸奥を中心として領内の和睦を圖なる說得せしめる。

◇

天正八年四月、和議のこともつて一年近い頃、二万五千の兵力を以て陸奥國主は、報知の木古内の陣に着いてゐた。舞戸を渡つて二十五日目、大暴風に遭遇したが幸ひ人馬に被害は殆どなく、物見が六大夫を先頭に上陸した。蒸氣の間に陣を布き、墓國で復初の夜を篝火をあかあかと燃やして過ごしたのであつた。

「風の音が聽こえるではないか——」

專部侯が聞きとがめて、手兵を出して調べさせと、怪しい人影があるといふ。

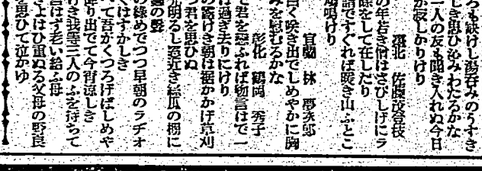
○石田順平

一、申上る様な經驗は御座いません（當地編輯館の方はして居らぬことは地方的に遺憾であります）

二、昨年に關して取られるものを發表して居ります。孫に石坂氏の著作物は發賣して居ります

——筆者は花蓮港廳長

仙太郎石坂氏に手動一手を與へて發表特に力せしめると、武備のあるでない部落のことで一たまりもなく降參し、星月夜の空に時ならぬ砲聲、阿鼻叫喚を聽く即ちたので、またもとの陣けさに立ち返り、兵糧は敵國を逸かに望んで物見やに聞るのであつた。



臺日歌壇

安成二郎選

中央公論

改造

政變特大號　一円二十錢

新内閣の性格

重要の内閣

政治の責任　岩淵辰雄

強力内閣論　堀眞琴

★軍部両大臣に要望す　河野密

★櫻内新藏相に俟つ　阿部賢一

米内首相論　伊藤正德

★有田新外相に寄す　永田一角

★兒玉新内相に提題す　津久井龍雄

新内閣人物評論　（松野・鶴・藤原・木村）

近衛はなぜ出馬しなかつたか・山浦貫一

政變をめぐる政界底流・白木正之

戰爭と自由　淡徳三郎

改造閉談　宇垣一成

支那事變と列國の動向　（政治的性格を）

米内内閣の經濟的（有機的）使命　（國民協力自）

街の演藝家諸君　（部内閣強かから出發せよ）

尾山太郎

藝術維新革新の原動力　羽仁五郎

首藩の二十年　（蝸牛庵聯話）・幸田露伴

文學の二十年・宇野浩二

聖蹟巡拜歌・川田順

梅花節（口繪）川端龍子

女流作家四方山ばなし　座談會

空中戰の名戰士たち　佐藤喜一郎

避難行　（動亂雜記）　野上豐一郎

街の人物評論　東郷茂徳

小山松壽

大田洋子

青野季吉

俳句　新春　日野草城

冬・小杉余子

箱根の冬　内藤吐天

創作・新人特選

駈込み訴へ　太宰治

雀斑　長谷健

風の町　眞杉靜枝

赤いステッキ　壺井榮

繪姿　石上玄一郎

家族　北原武夫

生きる子等　大田洋子

新人創作原稿募集發表

他所の戀・正宗白鳥

佐藤尚武

久原房之助

米内新内閣の性格

馬場恒吾

★戰亂の歐洲を步く・・大角生

★統制經濟と恐慌・・岸本誠二郎

日本の運命を決する重大時局

國家總動員

人的資源を充實して非常時局に備へよ

永井柳太郎　山頭火　下閣郎　滿生先　獎推勵激

文獻贈呈

一定	一、五〇（四十五錢）
一般	三、〇〇（一〇〇錢）
	八、五〇（二〇〇錢）
	一三、〇〇（三五〇錢）

原稿募集　國民の聲

詳細は上誌

法幣の性格

石濱知行

汪政權成立後の課題　杉村廣藏

悲劇キャデーのあくび　杉村楚人冠

蔣政權と和平問題　村上剛

揚子江開放と日米關係　益田豐彦

長江開放地區の國際經濟性　工藤幸劍

ロンドンの家　野上彌生子

★作家の凝視（文藝時評）　青野季吉

わが事變處理案

久原房之助

佐藤尚武

ヒオルモン

強力ビタミンD含有綜合劑

強腦強精・增血壯

國家總動員

人的資源を充實して非常時局に備へよ

永井柳太郎　山頭火　下閣郎　滿生先　獎推勵激

文獻贈呈

一定	一、五〇（四十五錢）
一般	三、〇〇（一〇〇錢）
	八、五〇（二〇〇錢）
	一三、〇〇（三五〇錢）

結核　虛弱體質　機能衰退　視力減退　性不能者

本劑一粒中の榮養價（ビタミン量）は卵十五個牛乳三升に匹敵す

民族的惱みを一掃して常に元氣で明朗でハリキツタ最上の調子（コンディション）で活動する事は一家の幸福であり、國家の福祉である。

それには效力を誇る最も合理的な強力榮養劑オオコンリオン並に婦人小兒用コンリオンの連用に依て抗病力、抵抗力を體内に充實して躍進せられ明朗生活希望に向つて躍進せられよ。

▲更年期中年後の方は强力ヴイタミンA、C、Dと臟器ホルモンとの綜合になるオオコンリオンの愛用によつて益々元氣で明朗に……

▲體力の改善向上の出來る胎兒少年兒童は酸性土壤と米食習性との必然的の我國民體質に及ぼす二大缺陷を一劑にて補給促進せしたる强力ヴイタミンA、D、と有機カルシウムとの綜合劑コンリオンの愛用によつて國民體位の根本的改善向上を計られたし。

小學校奉仕品有

有名藥店にあり

コンリオン定價　一円八十五錢　五円

日本水產理研臺灣支所　臺北市新起町二丁目　電話六四六番

日本水產理研臺中營業所　臺中市綠町二丁目十四番地　電話五番

日本水產理研高雄營業所　高雄市新濱町一丁目五番地　電話貳參參五番

日本水產理研臺北營業所　臺北市新起町二丁目　電話貳參參八七番

ヒオルモン

強力ビタミンD含有綜合劑

妊産婦・小兒用

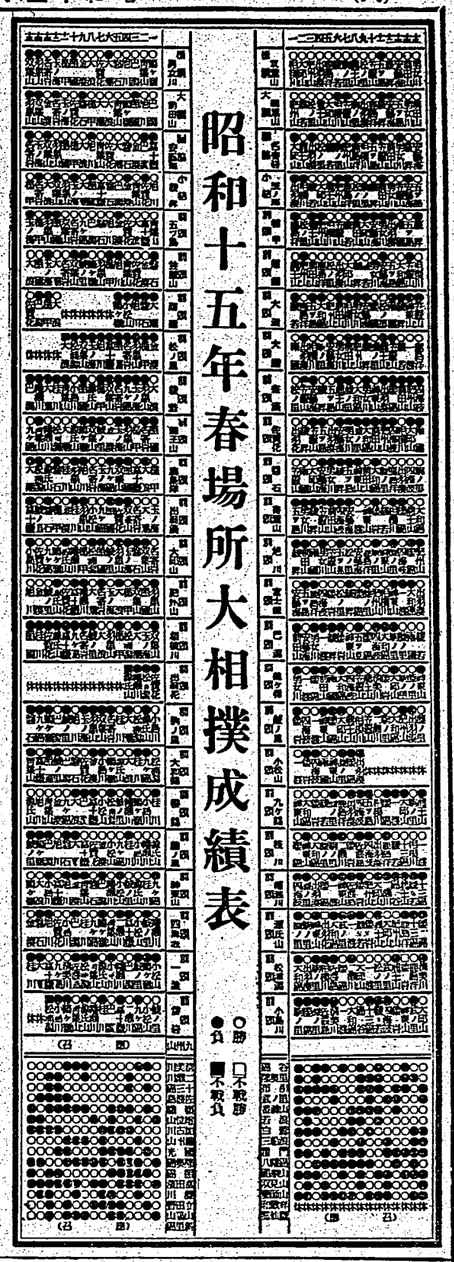
（第三種郵便物認可）　昭和十五年十二月二十七日（土曜日）　臺灣日日新報　第一二万四千四百三十二號　（七）

我等の陸の魚雷隊 涼龍嶺で大激戰

遂に敵の堅陣を屠る

【南寧にて西村特派員】我等の皇軍部隊は當初作戰を布いて南寧東北方に急進して以來數箇月二百餘粁から千米位の峻嶺なる山脈地帶を築城の優秀なる陣地を有する昔に敗退を重ねた敵軍を南方に追撃し敵の最後の拠點たる武勝關を攻略して蘇々たる武勳を建て國軍の魚雷の名を高めなく神鋒してゐるが從に森山部隊の擔當地區の死闘は大村部隊の重砲陣地死守と相待つて我が部隊が大陸に出征以來始めて經驗した大激戰であつた。敵は優勢なる砲兵を擁して西方高地の○○部隊に對して昨日夜以來昨日午前に亘り幾度となく逆襲を繰返して來たが我が部隊は何れの逆襲をも撃退して敵の企圖を破碎すべく計り其の都度退却して敵の山を奪取し

昭和十五年春場所大相撲成績表



○勝　口不戰勝　●負　■不戰負

双葉二十連勝成らず

……大相撲春場所總評……(上)

両國　松ノ里不振で西軍無念の惜敗

いい東方四分の勝味と云ふ見方であつたが、これと裏して見れば初の優勝をものにした東方各力士の健闘は實すべきであるかこの殺も大きな因をなすものは西方中堅關十族に両國、松ノ里あたりの意外の不振に外ならない

あれで両國、松ノ里一寸下つて両國學東關脇の各關取を廻り九時頃玉本拠の立關部屋に帰れば待ってゐた後援會員や魚問屋、力士後援會の連中が集つて戰績の開かれ集つたり、早速場の間で戰績の開かれ集つたり、早速場の間で戰績の開かれ集つたり、早速場の間で